

国際広報メディア・観光学専攻

観光創造研究コース

令和5年度
後期

日本語論述

10:00～12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
2. 問題紙はこの紙を含めて2枚ある。
3. 解答用紙(25 字×40 行=1000 字)は2枚ある。
4. 解答用紙は2枚とも必ず提出すること。
5. 受験番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 下書き用紙は別途配布されるが、問題用紙の余白を下書きに使用しても差し支えない。
8. 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題について、1600～2000 字の日本語(横書き)で記述しなさい。なお、適当な箇所で改行して段落に分けること。また、字数は改行のための空を含めて計算する。

観光という現象は、様々な要素が複合して成り立っている。そうした諸要素のうち、これまでの観光にとって重要だったものの一つが「移動」である。

だが、メディアの発展により、オンラインツーリズムなどの新たな形式の観光が誕生し、公衆衛生上の懸念も相まって、そうした地理的な移動を伴わない観光の可能性について近年盛んに議論されるようになってきている。他方で、現在日本ではインバウンドの呼び込みが課題となっており、移動を伴う従来の観光に期待する動きもある。

では、今後の観光において「移動」の持つ重要性はどのように変化するだろうか。具体的な事例を挙げながら、あなたの考えを論理的に説明しなさい。